

平成29年度

事業報告書

自 平成29年1月1日

至 平成29年12月31日

東京都中央区八重洲2-4-11 八重洲h+ビル3階

公益財団法人 岩谷直治記念財団



目 次

事業概況と実績	1
1. エネルギー及び環境に関する優れた研究に対する助成	2
2. エネルギー及び環境に関する研究開発で顕著な業績が認められるものの表彰	5
3. 人材育成と国際交流への助成	6
4. 主要事業日誌	10
5. 事業報告の附属明細書	12

<事業概況と実績>

当財団は科学技術に関する研究開発の助成および奨励、国際交流の推進のための援助並びに人材の育成を行なうことにより、科学技術全般の一層の発展を図り、もって国民生活の向上および国際的な相互理解の促進に寄与することを目的としております。その達成のために平成29年度においては、つぎの事業を実施いたしました。

1. エネルギー及び環境に関する優れた研究に対する助成

岩谷科学技術研究助成	30件	59,570千円
------------	-----	----------

2. エネルギー及び環境に関する研究開発で顕著な業績が認められるものの表彰

岩谷直治記念賞	1件	3,000千円
---------	----	---------

3. 人材育成と国際交流への助成

岩谷国際留学生奨学助成	39,601千円
-------------	----------

平成29年度	奨学生	15名(新規)
--------	-----	---------

平成28年度	奨学生	9名(継続)
--------	-----	--------

1. エネルギー及び環境に関する優れた研究に対する助成

－岩谷科学技術研究助成－

1) 決定

選考委員会推薦の別表－1に記載の30件を、平成29年12月開催の定例理事会で承認した後、理事長が助成対象に決定した。

助成金総額は59,570千円。

2) 助成対象と推薦

(1) 助成対象

「エネルギー・資源の有効利用および環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

(2) 推薦期間

平成29年6月1日～平成29年7月31日(2ヶ月間)

(3) 推薦依頼先

国立大学	私立大学	公立大学	高等専門学校	研究所	合計
103	90	15	57	23	288

(4) 推薦件数

166件(前年度149件)

3) 選考経過

(1) 第1回選考委員会(10月3日)

選考方法は昨年度と同じく、推薦案件1件について2名の選考委員で審査することとした。本年度の推薦総件数166件を11名の選考委員で分担したので、1人当りの審査件数は30～31件となった。

審査の採点は5点法を採用した。各選考委員の採点は、審査件数のうち5点は3件以内、4点は7件以内、3点は10～14件程度、2点は9件以内とした。

(2) 書類審査

各選考委員は分担する案件を「審査基準及び審査報告」に基づき審査し、審査内容を記載した評価表を選考委員長に提出した。

(3) 第2回選考委員会(11月8日)

各選考委員から提出された評価表を「審査集計表」としてまとめ、2名の選考委員の合計点が10点および9点の案件10件を推薦し、次いで合計点が8点および7点のものについて総合的に審議し、別表－1の30件の推薦を決定した。

別表－1：第44回(平成29年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

	所 属	役職・氏名	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
1	中部大学 応用生物学部	准教授 愛知 真木子	ゲノムエディティングを利用した脂肪酸高生産株の創出	2,000
2	信州大学 繊維学部	教授 浅尾 直樹	脱合金酸化法を用いたナノ吸着材料の開発	2,000
3	広島大学 大学院理学研究科	助教 池田 俊明	液晶ディスプレイの省エネルギー化を指向した円偏光発光光源の開発	2,000
4	山梨大学 クリーンエネルギー研究センター	教授 犬飼 潤治	放射光X線CTおよび中性子ラミノグラフィを用いた固体高分子形燃料電池用新規「ガス拡散層一体型リブレス金属セパレータ」開発	2,000
5	名古屋工業大学 大学院工学研究科	准教授 猪股 智彦	分子触媒とイオン液体反応場によるCO ₂ の資源化	2,000
6	佐世保工業高等専門学校 電気電子工学科	助教 猪原 武士	ナノ秒パルスパワーによる「あらゆる」水を原料とした超小型水素製造法の開発	2,000
7	岡山大学 異分野基礎科学研究所	助教 岩崎 真之	天然ガス資源を活用する革新的触媒の創製	2,000
8	茨城大学 工学部	准教授 鷗野 将年	高い拡張性を有するモジュラー式部分影補償器の開発とパネル故障診断への応用	2,000
9	東京大学 大学院工学系研究科	助教 梶山 智司	二次電池電極材料開発を指向した機能性分子集合構造の開発と電気化学反応機構解析	1,700
10	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	教授 加藤 茂	干潟地形の形成・維持過程の把握と保全・管理手法に関する研究	2,000
11	兵庫県立大学 大学院物質理学研究科	助教 角屋 智史	分子性導体に基づく有機熱電材料のフォノンエンジニアリング	2,000
12	東京農工大学 大学院工学府	特任助教 兼橋 真二	導電性高分子の多孔質化と熱電材料への応用	2,000
13	奈良先端科学技術大学院 大学 物質創成科学研究科	准教授 河口 範明	エネルギー蓄積型蛍光体の研究	2,000

14	早稲田大学 基幹理工学部	教授 川本 広行	太陽光発電パネルの静電クリーニング	1,870
15	東北大学 材料科学高等研究所	准教授 熊谷 明哉	ナノ電気化学イメージングから“直接” 視るグラフェンエッジの電極触媒反応	2,000
16	東北大学 学際科学フロンティア研 究所	助教 小嶋 隆幸	ホイスラー合金の触媒への応用および 特性の起源解明	2,000
17	京都大学 エネルギー理工学研究所	教授 坂口 浩司	エネルギー応用のための新規ナノ炭素 細線の開発	2,000
18	神戸大学 大学院工学研究科	教授 鈴木 洋	水素ハイドレートによるターミナルキ ャリア	2,000
19	奈良先端科学技術大学院 大学 物質創成科学研究科	助教 鈴木 充朗	従来の理論限界を突破する励起子増幅 型有機光電変換素子の創出	2,000
20	石川工業高等専門学校 電気工学科	教授 瀬戸 悟	真空一貫プロセスによる高効率ペロブ スカイト太陽電池に関する研究	2,000
21	兵庫県立大学 大学院工学研究科	准教授 多田 和也	耐熱型有機薄膜太陽電池による室内光 環境発電に関する研究	2,000
22	兵庫県立大学 大学院工学研究科	助教 中嶋 誠二	強誘電体薄膜のバルク光起電力効果 を用いた高電圧発生とそれを用いた光駆 動アクチュエータ	2,000
23	京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科	准教授 中西 英行	動的ナノ粒子の開発とフレキシブルペ ーパー電池への応用	2,000
24	東北大学 大学院理学研究科	助教 松下ステファ ン悠	トポロジカル絶縁体薄膜におけるエネ ルギーギャップと熱電物性の相関の解 明と新たな熱電変換材料の創生	2,000
25	名古屋大学 未来材料・システム研究 所	准教授 松田 佑	TSP を用いた沸騰熱流動場での高空 間・時間分解能計測を通じた熱輸送量 の詳細解析	2,000
26	京都大学 大学院エネルギー科学研 究科	准教授 松本 一彦	イオン液体を用いた高速充放電が可能 な中温作動型リチウム二次電池の開発	2,000
27	名古屋大学 大学院生命農学研究科	准教授 マツラナ アンドレス ダニエル	Bioinspired living-cells based 1.5V electric cell battery	2,000

28	大阪大学 大学院基礎工学研究科	准教授 水垣 共雄	植物バイオマスからPET樹脂原料の合成を実現する環境調和型固体触媒プロセスの開発	2,000
29	立教大学 理学部	教授 三井 正明	有機・無機ナノ物質の光物性・励起子ダイナミクスおよびそれらを用いた光電変換デバイスに関する研究	2,000
30	神戸大学 大学院工学研究科	助教 村川 英樹	固体高分子形燃料電池内の水輸送と電気化学特性の解明および三次元非定常解析	2,000
		(50音順)	合 計	59,570

2. エネルギー及び環境に関する研究開発で顕著な業績が認められるものの表彰

－岩谷直治記念賞－

1) 決定

選考委員会推薦の別表－2に記載の1件を平成29年12月開催の定例理事会で承認した後、理事長が記念賞と決定した。
副賞金額は3,000千円。

2) 選考経過

開発業績の主題は、従来通り「エネルギーおよび環境に関する優れた技術開発で、かつ顕著な産業上の貢献が認められている業績」を対象とし、関連学会・協会および関係団体、関連企業に6月1日から8月31日にかけて推薦を依頼したところ、11件の推薦があった。

第1回選考委員会(10月3日)において、推薦案件11件について選考委員全員で審査を行うこととし、第2回選考委員会(11月8日)において、「選考審査集計表」(応募案件点数表)に基づき、技術的独創性、産業上の実績等の視点から選考審査を行い、本年度の岩谷直治記念賞候補として1件を推薦することを決定した。

別表－２：第４４回(平成２９年度)岩谷直治記念賞受賞者

所 属	代表者	推薦者	開発業績
シャープ 株式会社	健康・環境システム 事業本部 CS統括部 課長 福島容子	公益財団法人 高分子学会 代表理事・会長 中條善樹	劣化誘導期法を用いた家電系 廃ポリプロピレンリサイクル 材料の余寿命評価技術

3. 人材育成と国際交流への助成

－岩谷国際留学生奨学助成－

1) 決定

岩谷国際奨学生を決定した。

新規 15名

継続 9名

奨学金総額は39,450千円。

なお、その他に奨学生2名に対し学会出席旅費として、総額151千円の補助を行った。

2) 選考経過

平成28年12月1日～20日まで20日間に亘り留学生の公募をしたところ280名(前年度300名)の応募があった。

書類審査・面接により、別表－3記載の15名に絞り込み、理事長が平成29年度の新規奨学生に決定した。

なお、学位の取得を目指す別表－4記載の平成28年度岩谷国際奨学生9名については、各指導教官から奨学金支給延長の要請を受け、継続して岩谷国際奨学生とした。

3) 交流活動

(1) 奨学生間および奨学生と財団の相互理解と親睦を図るため例会を開催した。

<第42回(平成28年度)奨学生>
第5回例会(3月8日) 於:東京
平成28年度の振り返り(財団会議室)
参加者14名(奨学生14名)

<第43回(平成29年度)奨学生>
第1回(4月14日) 於:東京
オリエンテーション(財団会議室)
参加者13名(奨学生13名)

第2回(6月30日) 於:東京
(株)北嶋絞製作所、日本科学未来館、NHK撮影スタジオ見学、
東京ディズニーシー 参加者14名(奨学生14名)

第3回(9月7日~9日) 於:沖縄
9/7 首里城、おきなわワールド、斎場御嶽
9/8 普天間基地、沖縄科学技術大学院大学、万座毛、沖縄JAXA、
国際海洋環境情報センター、ヘリオス酒造
9/9 美ら海水族館、オリオンハッピーパーク を見学する研修旅行
参加者14名(奨学生14名)

第4回(11月30日~12月1日) 於:東京
11/30 研究発表会(財団会議室)
参加者21名(奨学生14名、OB7名)
12/1 華巖の滝、日光東照宮、二荒山神社、古河電気工業(株)
参加者17名(奨学生12名、OB5名)

(2) 学位取得後、台湾国内で活躍している奨学生OBとの交流を図るため、
友の会台湾支部会を開催した。

友の会台湾支部会(10月28日、台北)
参加者:42名(奨学生OB21名、家族等21名)

別表－3：第43回(平成29年度)岩谷国際留学生奨学金受領者

No	氏名	国籍	大学・専攻	課程
1	金 東仁 KIM Dong In	韓国	東京大学 水圏生物科学	博3
2	沈 礼信 SHIM Ye Shin	韓国	京都大学 食品生物科学	博3
3	江 君 JIANG Jun	中国	東京大学 精密工学	修1、2
4	侯 宇航 HOU Yu Hang	中国	東北大学 材料システム工学	博3
5	劉 家銘 LIU Chia Ming	台湾	筑波大学 生物圏資源科学	博3
6	ニ マテ` ヘルティウィ ジアヤ NI Made Pertiwi Jaya	インドネシア	山口大学 環境共生系	博2、3
7	フィルダ` フルカニ FIRDA Furqani	インドネシア	岐阜大学 物質工学	博1
8	ニチャ` ニシカワ NICHA Nishikawa	タイ	長岡技術科学大学 情報経営システム	修2
9	ブイヴァン` デイン BUI Van Dinh	ベトナム	横浜国立大学 物理情報工学	博4
10	ハム ティ フォング` タオ PHAM Thi Phuong Thao	ベトナム	国際大学 国際開発学	修1、2
11	チュン クォック` チー TRUONG Quoc Tri	ベトナム	長岡技術科学大学 生物統合工学	博3
12	ムハマド` ラジ` イクバル` ビン` ミスラン MUHAMMAD Radzi Iqbal Bin Misran	マレーシア	大阪大学 応用化学	修2
13	バトエレデ` ネ` ハタンボルト` Bat-Erdene Khatanbold	モンゴル	東京工業大学 建築学	修2
14	ウスフハ` ヤル` ナラント` ラム USUKHBAYAR Narandulam	モンゴル	岩手大学 生物資源利用学	博1
15	シャンパン` メイラム` ベック SHAMPAN Myeiramyek	モンゴル	横浜国立大学 都市地域社会	修1

別表－４：第４２回(平成２８年度)岩谷国際留学生奨学金継続受領者

No	氏名	国籍	大学・専攻	課程
1	姜 正敏 男 KANG Jung Min 32才	韓国	東北大学 物理学	博5
2	謝 駿 男 XIE Jun 26才	中国	大阪大学 環境・エネルギー工学	博3
3	洪 銘蔚 女 HUNG Ming Wei 30才	台湾	筑波大学 国際地縁技術開発科学	博5
4	クリスティン イネク ウィボウィボワ CHRISTINE Ineke Wong Wibowo 23才	インドネシア	神戸大学 建築	修2
5	スワンモントリー ピッチャヤナン PICHAYANUN Suwanmontri 31才	タイ	東京大学 生産・環境生物	博5
6	メーターウィー ピアパークデー METHAVEE Peanparkdee 27才	タイ	岐阜大学 生物資源科学	博3
7	ホアン ティ ガン HOANG Thi Giang 26才	ベトナム	信州大学 工学	修2
8	カオ トック ティン CAO Duc Thinh 29才	ベトナム	長岡技術科学大学 経営情報	博2
9	トゥメンバヤル ビヤムバートルジ TUMENBAYAR Byambadorj 25才	モンゴル	東京工業大学 電気電子工学	修2

4. 主要事業日誌

年月日	内容
29/ 2/8.9.14	岩谷国際留学生奨学助成候補者面接選考(36名)
2/21	平成29年度第1回定例理事会 ・平成28年度(平成28年1月1日～平成28年12月31日)事業報告書(案)並びに計算書類(案)承認 ・次期理事候補者(平成29年3月～平成31年3月)承認 ・次期監事候補者(平成29年3月～平成33年3月)承認 ・評議員候補者(補欠1名：平成29年3月～平成33年3月)承認 ・第44回(平成29年度)岩谷科学技術研究助成候補者推薦要項及び推薦書承認 ・第44回(平成29年度)岩谷直治記念賞候補者推薦要項及び推薦書承認 ・定時評議員会開催(案)承認
2/15	岩谷国際留学生奨学助成対象者決定(15名)
3/ 7	第43回(平成28年度)岩谷科学技術研究助成贈呈式
3/21	平成29年度定時評議員会 ・平成28年度(平成28年1月1日～平成28年12月31日)計算書類(案)承認 ・次期理事10名、次期監事2名、評議員1名選任
3/28	平成29年度第1回臨時理事会(決議の省略) ・理事長及び常務理事選定
5/15	第44回(平成29年度)岩谷直治記念賞候補者推薦依頼 第44回(平成29年度)岩谷科学技術研究助成候補者推薦依頼
5/19	・財団ホームページへ記念賞及び研究助成の推薦要項・推薦書を掲載
6/15	平成29年度第2回臨時理事会(決議の省略) ・この法人が保有する株式等の議決権の行使承認
7/31	岩谷科学技術研究助成推薦締切(166件)
8/ 1	研究報告書(Vol. 40)発刊 財団機関誌「needs」(Vol. 43)発刊
8/31	岩谷直治記念賞推薦締切(11件)
9/25	平成29年度第3回臨時理事会(決議の省略) ・岩谷産業株式会社の株式併合によって生じる基本財産の一部変更承認

年月日	内容
	・平成29年度第1回臨時評議員会開催(案)承認
9/29	平成29年度第1回臨時評議員会(決議の省略)
	・岩谷産業株式会社の株式併合によって生じる基本財産の一部変更承認
10/ 3	第1回選考委員会(研究助成・記念賞)
10/28	岩谷国際奨学生「友の会」台湾支部会
11/ 8	第2回選考委員会(研究助成・記念賞)
12/ 1	第44回(平成30年度)岩谷国際留学生奨学助成募集開始
12/13	平成29年度第2回定例理事会
	・平成30年度事業計画(案)承認
	・平成30年度収支予算(案)並びに「資金調達及び設備投資の見込みについて」(案)承認
	・第44回(平成29年度)岩谷科学技術研究助成候補30件(案)承認
	・第44回(平成29年度)岩谷直治記念賞候補1件(案)承認
	・「就業規則」等の改訂及び新規程制定(案)承認
	・平成29年度第2回臨時評議員会開催(案)承認
12/20	第44回(平成30年度)岩谷国際留学生奨学助成募集締切(284名)
12/28	平成29年度第2回臨時評議員会(決議の省略)
	・「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」の一部改訂承認

以上

事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。